

# 令和7年度 第2回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和7年11月7日（金） 午後6時00分～午後7時15分

場所 仙北市西木庁舎201会議室

出席 出席委員11名（欠席委員7名）

## 1 開会

## 2 教育長あいさつ

## 3 委員長あいさつ

## 4 議 題

### （1）市民意見交換会等の報告について

～事務局説明～

9月22日開催の4学区（生保内・神代・西明寺・桧木内）合同保護者意見交換会、10月8日～15日開催の4学区市民意見交換会、9月4日～10月23日開催の桧木内中学校の統合に関する意見交換会の概況を報告。

委員	生保内会場の市民意見交換会で、教職員のアンケートは参考にならないとの発言があるようだがどういう意味か。
事務局	教職員は地域目線の回答ではなく、またその結果に影響を受ける人が多くなってしまうとのことで、地域の意見を重視して欲しい思いからの意見と受け止めている。
事務局	市民意見交換会では、具体的に1つに絞り込んだ計画案を提示したことから、統合に反対意見を持っている方の出席が多くなったのではないかと推察している。 これまで検討経過は随時広報等で発信してきたつもりだが、詳しい説明を受けてじっくり考えたいとの要望もあったことから、10月29日、11月14日に詳しい説明と意見交換を行うこととした。 令和4年度から市民の意見を積み上げてきた計画案であり、丁寧に説明していきたい。
委員	桧木内中学校の統合については、来年度以降就学する予定人数によって、計画に基づく統合で進めるか、またはその前に西明寺中と編入統合するか対応が変わってくるということか。
事務局	そのとおり考えている。全校生徒数が8人以下になると原則3学年で1複式となるが、これは学校運営面で厳しく避けたいと考えており、そのような状況が予想された場合には教育委員会として編入統合を検討したいと考えている。 これに関わらず、保護者が総意として希望する場合には、令和9年度

| 又は 10 年度の編入統合を考えていく。

## (2) 学校訂正配置計画(案)について

～事務局説明～

資料により、計画(案)の内容を説明。

委員	計画の中に、桧木内の編入統合の可能性について触れる必要があるのではないか。事務局で検討して欲しい。
委員	生保内学区で中学校統合に反対が多い時の対応はどうしていくか。
事務局	2月頃にアンケートを実施し、その結果、半々位の場合は教育委員会で判断していくが、反対が多い場合は存続の方向を考えていくことになると思う。

## (3) 今後の進め方について

～事務局説明～

11月に生保内学区保護者と意見交換会を行い、12月には全5学区で一般市民を対象とした意見交換会を予定している。

2月頃を目途に生保内学区で中学校統合に関するアンケートを実施し、その結果を踏まえ、再度検討委員会や総合教育会議等で議論し、判断していきたい。

(特に質問等なし)

## (4) その他

委員	今春統合した白岩小保護者から、統合前に不安や心配だったことが、実際に統合してみてどうかを尋ねてみたが、特に問題に感じていることはないようだった。子どもにとっては大人が心配するほどではないのかかもしれない。 統合前の交流事業はとても大事で、これがあったからこそスムーズに統合できたとの声もあった。
委員	統合して学校の距離が遠くなると、子どもが体調を崩したときに迎えに来てと言われてもすぐには行けないこともある。保健室の拡充とかそうした緊急時の対応体制を整えることも必要と思う。
委員	出生数が加速度的に減少していて、中学校は3校統合の場合、令和19年度には全校で37人になってしまう予測である。本計画後、生徒数が何人になれば再検討に入るのか。

事務局

本計画は、概ね10年先を見通した計画とし、10年後以降については、それまでに次の段階の検討を行うことを想定している。

委員長

県立高校の再編もそうだが、10年スパンで考えていくことは妥当だと思う。10年後の検討はそれまでに再度行うことになると思う。

教育委員会から丁寧な説明を行い、当事者の意見を尊重しながら判断することが大事である。

## 5 閉会